

スポーツ車専用エンジンオイル添加剤

BELL HAMMER®
PHANTOM × MFジョーグ



詳細はこちら

スポーツ車専用エンジンオイル添加剤

BELL HAMMER®
PHANTOM × MFジョーグ



ベルハンマー添加剤シリーズの
フラッグシップモデル
フラットに回る
ストレスが消える
走りが冴えわたる



©しげの秀一・講談社 / MF ゴースト製作委員会

4 Noticeable Changes

エンジン添加で「体感」できる4つの変化

エンジンオイル添加剤は、「入れて終わり」ではありません。乗り出してすぐに感じる変化から、長く付き合ってわかる安心感まで、4つのポイントで“使用感”をわかりやすく可視化しました

カラカラ音が、スッと静かに



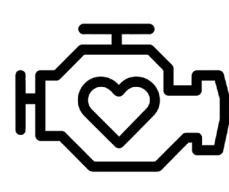
金属同士の摩擦を抑え、エンジン内部の異音や不快な振動を軽減。アイドリング時や渋滞中でも、ひとクラス上の静かさを体感できます

一番傷みやすい「かけ始め」を守る



摩擦抵抗を低減し、回転のツキをスムーズに発進や追い越して、踏んだ分だけ素直に加速してくれる感覚が得られます

今のエンジンを、できるだけ長く



潤滑性能を高めることで、摩耗や焼き付きリスクを低減。シビアなコンディション時の使用でも、エンジンを長く良好な状態に保つサポートをします

アクセルに、クイッとついてくる



始動時も油膜が残りやすい特性により、オイルが行き渡る前のドライスタートを強力サポート。通勤・買い物など、短距離のチョイ乗りが多い方ほど、違いを実感できます

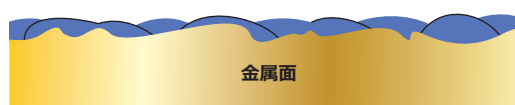
Double Layer

ダブル被膜イメージ図

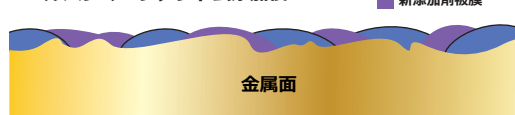
ベルハンマーファントム添加前



ベルハンマーファントム添加後



ベルハンマーファントム添加後



ベルハンマーファントムを添加していない金属表面

ノーマルオイルのみ添加した状態のエンジン内部の金属面イメージ図です

ベルハンマーファントムを添加した金属表面

ベルハンマーファントムの EP(極圧剤) が作用し金属表面に極圧被膜が形成、しかし被膜形成の持続力が課題でした…

ベルハンマーファントムのダブル被膜形成後の金属表面

新配合の有機モリブデン系添加剤と EP(極圧剤) が相乗効果を発揮することで、金属表面の摩擦低減と保護・延命を今までにないレベルで実現します！

※この図はイメージです

Friction Test

試験機による摩耗度の違い

荷重試験機で一般的なエンジンオイルとベルハンマーファントムを 10% 添加したエンジンオイルによる摩耗痕テストを行いました

一般的なエンジンオイル(画像左)はキメが粗く、引き裂かれた摩耗痕が見受けられます

一方、ベルハンマーファントムを 10% 添加したエンジンオイル(画像右)はキメが細かく、摩耗痕も少ないという結果が得られました



荷重試験機



一般的なエンジンオイル



ベルハンマーファントム

※同倍率画像

BELL HAMMER PHANTOM 仕様概要

内 容 量	340ml
成 分	鉱油・減摩剤
種 類・形 式	油性・液状
用 途	スポーツ車専用 エンジンオイル添加剤

第4類第4石油類 危険等級Ⅲ



How to Use

エンジンオイル添加の基本ガイド

使用順序

1. **エンジンを止めて**オイルフィルターキャップを開ける
2. 本品を注油口から1本全量を注ぐ。**火傷に注意！**
3. 注油後オイルフィルターキャップを締め、5分程度のアイドリング後オイルの量が適正範囲内であることをレベルゲージで確認
この時オイルゲージの上限と下限の間にオイルが入っていれば OK



使用量

エンジンオイル量 3.5~7L に本製品 1 本の割合で添加
(エンジンオイル量の **5~10%** が添加量の目安)

添加サイクル

エンジンオイル交換ごとの添加を推奨

注意事項

・湿式クラッチのバイク等のエンジンオイルへの添加は絶対にしない

- ・注油の際、水やゴミが入らないようにする
- ・他の添加剤と混合禁止
- ・本品を一度で使い切る

- ・ブレーキやクラッチなど摩擦で動作を制御する箇所には絶対に使用しない
- ・2サイクルオイルの代わり及び添加剤には使用しない(オイルが分離し、2サイクルオイルがエンジンに供給されない可能性有り)
- ・ディーゼルエンジンへの添加は推奨しない

免責事項 > 必ずお読み下さい

本製品は自己責任にて使用をお願いします。本製品を使用した対象物の物性変化それに伴う動作等の影響に関しては一切保障いたしません